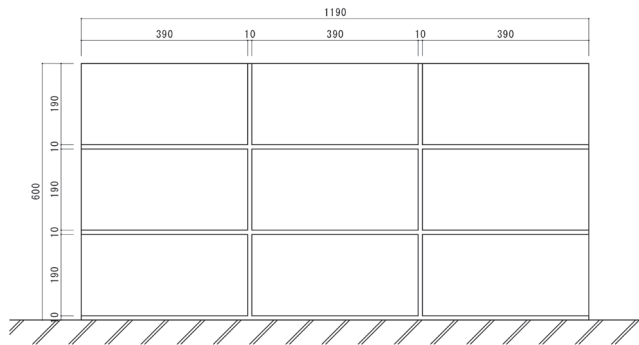


メテリーストーン

ストーン

① 基礎壁

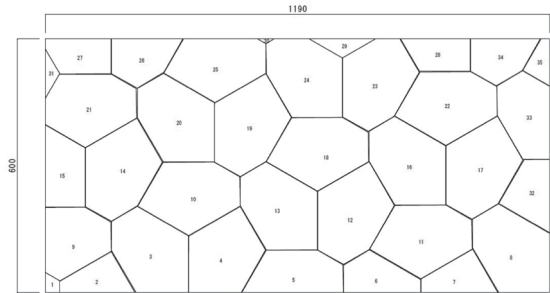
- ・基礎壁を用意する。



※推奨基礎壁はブロック3列3段になります。
 ※推奨ブロックサイズは390x190x120の使用しております。

② 基本面の施工

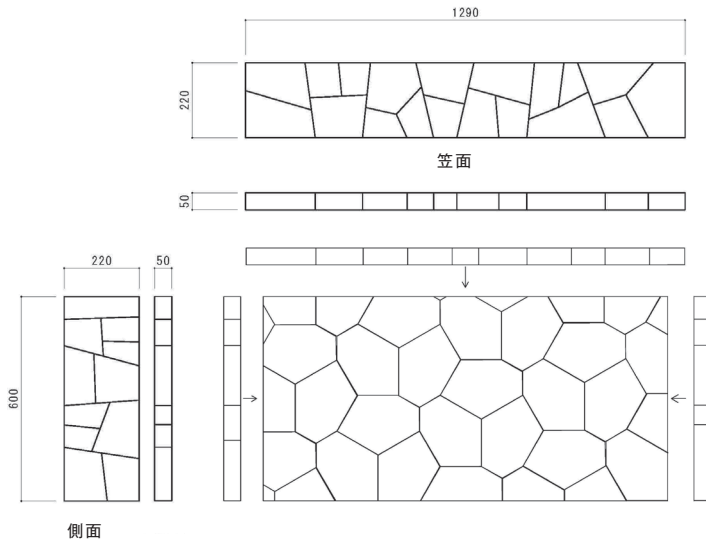
- ・仮並べ、圧着施工していきます。
- ・材料は木枠の中に下図の状態でご提供されています。
- ・下から番号順に部材を取り出し圧着モルタルにて施工していきます。



・手加工品の為、寸法誤差がございますのでサビ、養生テープを使いながら隙間を調整して下さい。
 ※季節により圧着モルタルの硬化時間が異なるのでご注意下さい。

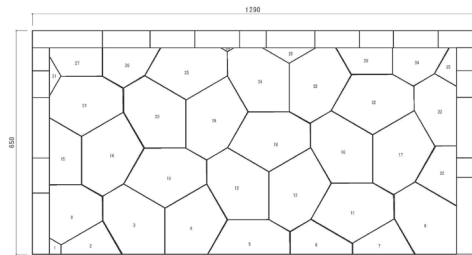
③ 側面、笠面の施工

- ・側面、笠面を施工後、ロープ、テープ等で仮固定を行い、モルタルが硬化するまで養生を行う。



④ 仕上げ

- ・モルタルの硬化を確認後、仮固定していたロープ、テープ等を取り外し完成になります。



【施工手順例】

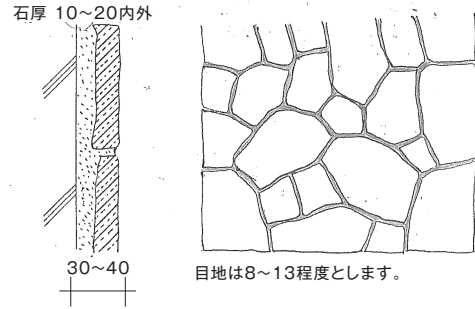


諏訪鉄平（壁面推奨施工）

施工要領

ストーン

- 1 壁コンクリート面を清掃して、散水してから施工して下さい。
- 2 施工モルタルには、剥離を防止する為、市販の接着増強剤を混合して、施工する方法をお薦めします。
- 3 水は油、酸、塩類、有機物質を含まない清浄なものをご使用下さい。



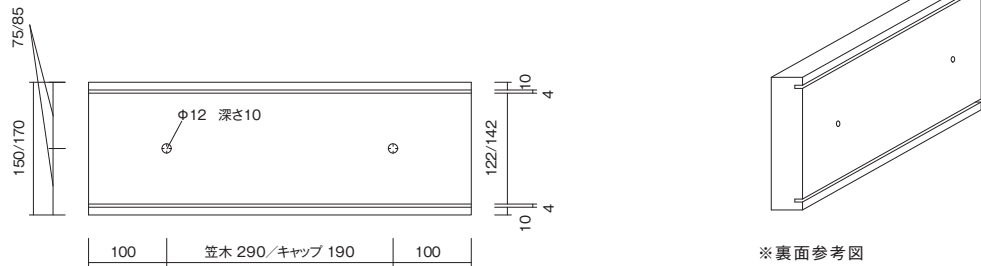
混合モルタルは、ダンゴ貼りで20Kg以上の圧力で練り圧着をして下さい。

ブイグラニット／アーバングラニット

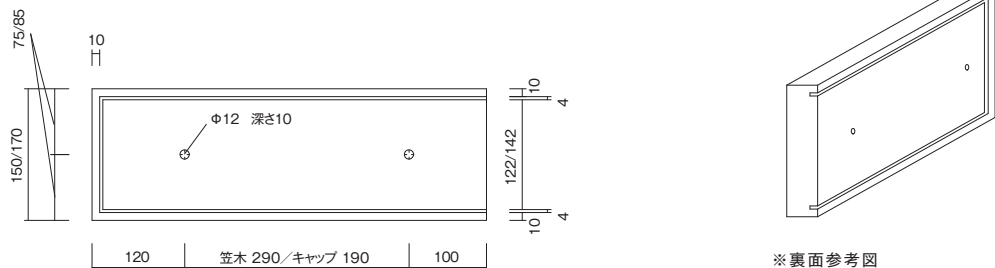
寸法図

【ブイグラニット、アーバングラニット笠木・ブイグラニット、アーバングラニットキャップ】

150/170 基本



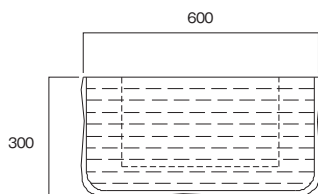
150/170 コーナー



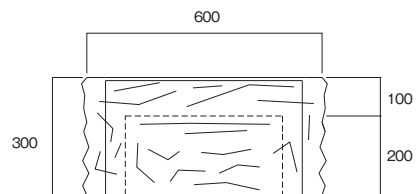
【沓脱石】

6-3-3

平面図

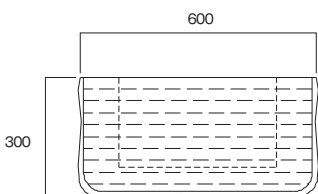


側面図

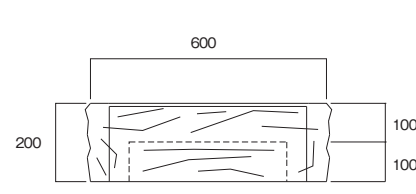


6-3-2

平面図



側面図



ドロップネット

<参考> 施工手順

はじめに

- 原則として、1日目に手順1~2、2日目に手順3~4を施工してください。接着用モルタルの硬化が早い場合には、同日中の施工は可能ですが、砂利の欠落が起きないように十分注意してください。
- 施工中や施工直後に貼付けた本品の上に乗ることは可能ですが、スリ足や道具を引きずるような行為は本品シートの上のズレや砂利の欠落の原因となりますので注意してください。
- 下地の不陸調整(凹凸を平らにする処置)、ひび割れ修復、及び清掃は事前に終わらせておいてください。
- 本品のほかに、次の材料・道具をご用意してください。(※)
 - 接着用セメント・モルタル
 - 目詰用セメント・モルタル(目地材)
 - クシ目鋺
 - ゴム鋺
 - タイル用タタキ板(タタキ鋺)
 - 刷毛, 左官ブラシ
 - スポンジ(洗い出し用)
 - ハンドミキサー(かくはん機)
 - 練り樽, 練り用バケツ
 - バケツ(スポンジを洗う用)



1. 接着用モルタルの塗付け

- ① コンクリート・モルタル仕上げの下地(接着面)に湿らす程度に水打ちして、接着をより良くしたい場合は、プライマー・シーラーといった調整材を塗布します。
- ② 水と混練した接着用モルタルを、クシ目鋺を使い、厚みが均一になるように塗付けます。厚みは、本品砂利の高さの1/3程度を目安にします。
 - ・ 接着用モルタルは、クシ目鋺で塗付けた時に凹凸が崩れない程度の固さに練り合わせてください。
 - ・ 端までの塗り付けが不十分の場合、浮きや剥がれの原因となりますので注意してください。

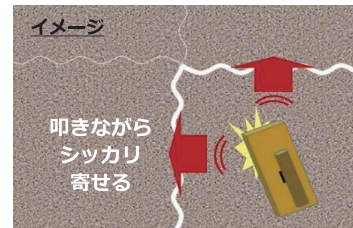


Point-1

接着用モルタルは、仕上げの目詰用モルタルの色に同じ(もしくは近い)色合いのものを使用してください。

2. 本品の貼付け

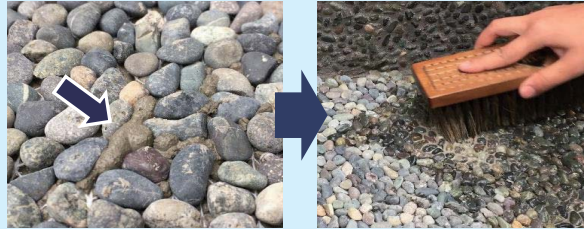
- ① 1枚目を角に置き、タイル用タタキ板等で叩きながら貼り付け、2枚目以降は隣のシートに沿うように置き、隣との境目を詰める(寄せる)ように叩いて貼り付けます。砂利が重なり盛り上がりしてしまう場合、タタキ板で叩いて平らに均します。
- ② 端の部分など、本品の大きさが合わない箇所はカッター等で切断し大きさを合わせます。
- ③ 端の部分や砂利が欠落した部分の隙間等は、備え付けの予備砂利を埋めて補修します。



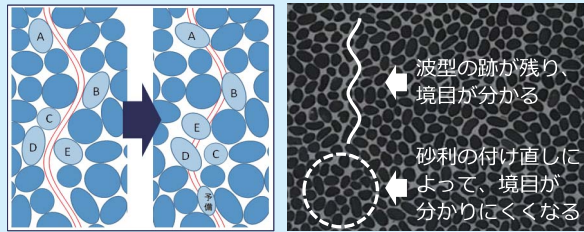
※各種材料・道具は、それぞれのメーカーが定める使用方法・注意事項をよく読み、ご使用ください。

Point-2

接着用モルタルが、境目や砂利の間から表面に出過ぎた場合、硬化する前にブラシで掻き取り、スポンジで拭き取るなど必ず対処してください。そのまま硬化した場合、仕上り時に「境目が目立つ」「砂利の表れ方にムラがある」といった仕上りの原因になります。

**Point-3**

シートを貼り付けた際にシートの縁にある砂利をいくつか取り外し、向きを変えて無作為に付け直すと、仕上り時のシート境目が目立ちにくくなります。特に「フシミ」のような単色の色合いのものは、境目が比較的目立ちやすくなりますので、効果的です。

**3. 目詰用モルタルの塗付け**

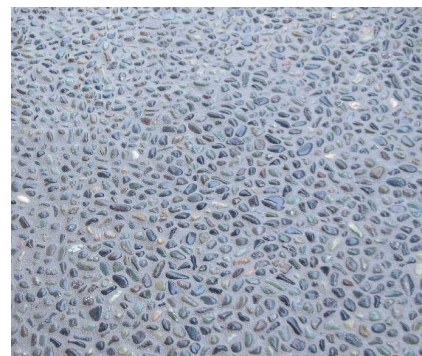
- ① 水と混練した目詰用モルタルを、ゴム鏝を使い、砂利の隙間がしっかり詰まるように塗り付けます。砂利が完全に隠れる様にまんべんなく塗ります。
- ② 刷毛やブラシを使って表面の余分なモルタルを掻き取り、砂利の立体感が出るように厚みを調整します。
 - ・目詰用モルタルを塗り過ぎると次工程の洗い出し作業が困難になりますので注意してください。
 - ・手順1.~3.を同日に行った場合、塗付け時に力を入れすぎると本品シートが動いてしまったり、砂利が欠落してしまうことがありますので注意してください。

**Point-4**

仕上り時に「巣穴」「ピンホール」といった気泡の穴ができないように、しっかり押え込みながら塗り付けてください。

4. 洗い出し

- ① 刷毛やブラシを使って水を打ちながら擦り、表面のモルタルを柔らかくします。(「アマ出し」の作業)
- ② スポンジ等で砂利表面の柔らかくなったモルタル(アマ)を綺麗に拭き取り仕上げます。(刷毛・スポンジを使い、きれいな水で繰り返し拭き取ります。)
- ③ 砂利が欠落した部分の隙間等は、備え付けの予備砂利を埋める等をして補修します。



「簡単」「スピーディ」な施工、そして「美しい」仕上がりをこの **-ドロップネット-** でぜひ実感してみてください。